

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立福小

学校

児童数

17人

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.00	18.63	42.38	43.38	51.63	9.85	142.63	20.63	53.14
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.50	19.75	52.00	42.00	38.88	10.03	139.63	16.14	55.29
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男子の合計点は53.14点で全国平均を0.12点上回っている。特に、長座体前屈と反復横跳びで全国平均を大きく上回った。一方、50m走では、全国平均を大きく下回る結果となり課題が見られた。女子の合計点は55.29点で全国平均を1.32点上回った。特に、長座体前屈とソフトボール投げで全国平均を大きく上回った。一方で、握力は全国平均を下回り課題が見られた。

児童質問紙では、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対する最も肯定的な回答の割合は男女ともに75.0%であり、全国平均を上回る高い結果となった。また、週の運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は0%、女子は62.5%と女子の割合が高い結果であった。休み時間にドッジボールなどのボール遊びに親しむ様子や学校外でも運動に親しむ児童が多い一方で、学校以外では運動をする機会があまりない児童もいることから、運動やスポーツが好きでも普段の生活での運動の習慣化には至っていないことが分かる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

教科担任制による体育専科の実施やこれまで実施してきたなわとび運動週間、かけあし運動週間に加え、今年度は鉄棒運動週間も実施し、運動に関する取り組みを行ってきた。運動に対する意欲向上を図り、これらの取り組みを行った結果が児童質問紙の回答に成果として表れている。また、休み時間や集会などで異学年交流をしながら運動に親しむという日常的な運動習慣の定着が、高い体力合計点につながったと考えられる。

一方で、1週間の運動時間が少ない児童の割合が高いことは課題である。体育科の授業においては、「できなかったことができるようになった」喜びや「友だちと交流、協力してできた」という楽しさを味わえるように指導の工夫をし、児童自身が進んで学習に参加できるようにしていく必要がある。また、来年度以降も運動強調週間を継続して実施するとともに、休み時間や集会での遊び等を通じた運動の機会を確保し、多様な運動に親しめるようにすることで、児童の体力向上につなげていきたい。

